



Avid® Editing Application

ReadMe for Media Composer® v2023.12

重要: ソフトウェアの最新アップデートは、www.avid.com/us/support/downloads からダウンロードできます。上記サイトから最新のアップデート情報を定期的にご確認ください。

重要な情報

新しいソフトウェアをご使用になる前に、この文書を必ずお読みください。

重要: 文書は最新の情報を反映した内容に変更される場合があります。Avid Knowledge Base で常に最新の ReadMe をご確認ください。

この文書には、以前のバージョンとの互換性やインストール方法、ハードウェア・ソフトウェアの稼働要件、システムやメモリに関する情報、ハードウェアやソフトウェアに関する制限についての情報等が書かれています。

目次

記号と表記法について	3
困ったときは.....	3
Media Composer に関する注意	4
SRTに関する注意.....	5
セキュリティガイドライン	6
Media Composer v2023.12 で修正された不具合	6
既知の問題.....	9
インストールの前に	12
(Windows) インストール中の上書き	12
Media Composer Enterprise および Media Composer Distributed Processing.....	12
MediaCentral Production Management 環境へのインストールの前に	12
バッファエラーメッセージ	12
解凍時のエラーについて	12
“Raise Thread Priority”権利.....	13
管理者 (Administrator) としてインストール.....	13
インストールの後に	13
AMA プラグイン.....	13
ソフトウェア・ライセンスについて	13
OS をアップデートする時は	13
RAM 最小要件	13
認証ハードウェアとオペレーティングシステム	13
認証ワークステーションおよびラップトップ	14
機能別稼働要件	14
Avid Artist I/O デバイス互換表	16
システムバージョン互換表	16
オーディオデバイスとの互換について	17
NVIDIA カードのセットアップ.....	18
共有ストレージサポート.....	19

記号と表記法について

この文書では、以下の記号と表記法を使用します。

記号と表記法	意味
	関連する重要な情報、推奨される動作等のコメントです。
	誤った操作をするとシステムを破損したりデータを失ったりする恐れがあります。
	誤った取り扱い方をすると身体的な傷害を負う恐れがあります。電気機器を扱うときは、この文書または機器自身に付属のガイドラインをお読みください。
>	メニューコマンド（またはサブコマンド）を示します。例えば「ファイル>インポート」とは、まずファイルメニューを開き、続いてインポートコマンドを選択することを意味します。
▶	単一ステップの手順を示します。この記号が複数あるときは、その中から一つの動作を選んで実行してください。
(Windows),(Windows のみ) (Macintosh), (Macintosh のみ)	Windows または Mac のみに適用される操作や情報を示します。
太字	主にユーザーインターフェース上のアイテムを示します。
斜体	特定の言葉を強調するときや変数を示します
Courier Bold font	キーボードから入力するコマンドを示します
Ctrl+ キー またはマウス	最初のキーを押したまま、次のキーを押すか指定されたマウスアクションを実行します。例えば Command+Option+C 、 Ctrl+ドラッグ 等です。
(パイプ)	MediaCentral Production Management のような Avid の製品名で使用します。この文書では、パイプは項目名、または最初に登場したときに使用します。

困ったときは

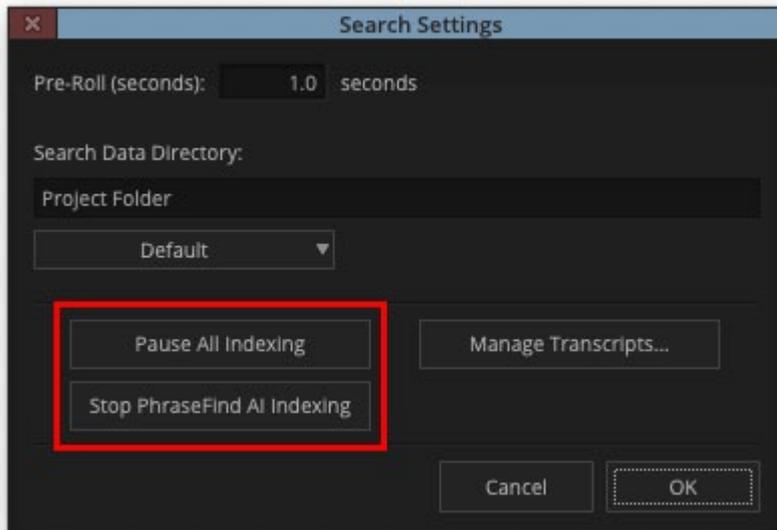
Avid 製品を使用中に問題が発生した場合は:

1. ガイドを注意深く読みなおしながら、もう一度操作を実行してください。操作の一つ一つを確実にチェックしてください。
2. ReadMe の新しいアップデートが出ていないか確認してください。最新の ReadMe は Web サイトにアップロードされています。オンラインで ReadMe を確認するには、Help メニューから「お読みください」を選択するか、<http://www.avid.com/readme> から ReadMe を検索してください。
3. Avid アプリケーションやハードウェアに付属の文書を確認してください。必要な文書はアプリケーションインストール時に PDF 形式でシステムにコピーされます。Help メニューの内容は、レイアウト上の制約から、印刷には適さない場合があります。詳細で見やすい情報が必要な場合は PDF バージョンを印刷してお使いください。
4. オンラインサポート www.avid.com/onlineSupport/ をご確認ください。エラーメッセージやトラブル対応、Tips、アップデートのダウンロード等は Knowledge Base をご利用ください。

Media Composer に関する注意



PhraseFind AI はメディアをバックグラウンドでインデックスします。インデクシングには多くのリソースが必要であり、Media Composer の動作に影響を及ぼす場合があります。編集の動作が顕著に遅くなった場合は、検索ウインドウからインデクシングを中断させることができます。検索ウインドウの歯車アイコンをクリックして、[インデクシングを一時停止] または [PhraseFind AI インデクシングを停止] を選択してください。



Media Composer 2023.8 以降では、HDV メディアのインポート、エクスポート、作成はサポートされません。



Media Composer 2023.8 以降では、IEEE-1394 (Firewire) を使用した HDV 素材の取り込み (テープ素材) や出力 (デジタルカット) はサポートされません。



(mac のみ) : macOS Catalina では、32-bit アプリケーションはサポートされません。以前のタイトルツール、Marquee ツール、QuickTime レガシーコーデックはインストールされません。Catalina 以前のシステムに Media Composer をインストールする場合は、これらのツールについて、別のインストーラーが用意されていますので、これを使って別にインストールしてください。QuickTime が既にインストールされている場合は、レガシーコーデックのみをインストールします。インストーラーは "Media Composer Legacy Components 2020.4 Mac" です。MyAvid リンクまたはダウンロードセンターからダウンロードできます。



(mac のみ) : macOS Catalina 以上では、DMF (ダイナミックメディアフォルダ) はサポートしていません。



Media Composer v2022.7 以降で作成されたグループクリップまたはマルチグループクリップのサブクリップは、オリジナルのサブクリップを読み込みます。Media Composer v2022.7 以前のバージョンで作成されたグループクリップまたはマルチグループクリップのサブクリップは、グループクリップまたはマルチグループクリップを読み込みます。

- AMD カードを使用していて、Ctrl+Shift+M や Ctrl+Shift+G のようなモディファイアキーが必要なショートカットが動作しないときは、AMD の "Use Hotkeys" 設定を無効にしてください。
- Avid DNxIQ や Avid DNxIV のような I/O デバイスを接続しているときは、Media Composer v2022.10 を最初に起動するときに手動でデバイスを選択し、出力デバイスとして有効化する必要があります。タイムラインウインドウの HW/SW ボタンを右クリックし、使用したいデバイスを選択してから HW/SW スイッチを On にして有効にします。次回 Media Composer を開いたときは、この設定が使用されます。

- (MCCET-4684) SCC ファイルをインポートしたとき、行が混ざったり重なったりした結果、テキストが一気に表示されることがあります。これを防ぐためには、SCC ファイルから Duplicate Control Code を削除してください。
- (MCCET-2541) Avid Artist DNxIO または Avid Artist DNxIQ を使用しているときは、Windows OS の「サウンド」コントロールパネルから、BlackMagic Audio のライン入力録音を無効にしてください。
- Desktop Video v10.10.1 は Media Composer 2018.5.1 以前のバージョンにはインストールしないことをお勧めします。
- **Avid Artist DNxIO および Avid Artist DNxIQ について** : Avid Artist DNxIO、Avid Artist DNxIQ、Blackmagic Design の各ビデオデバイスをお使いの場合、Desktop Video ソフトウェアは v11.0 以上をお使いください。Avid Artist DNxIV 及び Avid Artist DNxIP をお使いの場合、AJA ソフトウェアを v15.2 以降に更新してください。
- **認証されているオペレーティングシステム** : 詳細については、[認証ハードウェアとオペレーティングシステム](#)をご参照ください。
- **dongle (Mac のみ)** : Dongle Sentinel ドライバーは、アプリケーションのインストールと同時にインストールされません。ドライバーは Avid_Uilities フォルダ (`/Applications/Utilities/Avid_Uilities/Sentinel_Driver`) にあります。dongle を使用している場合は、この場所から手動でインストールしてください。



Sentinel ドライバーをインストールするときは、システム環境設定の「セキュリティとプライバシー」でドライバーのアクセスを許可していることを確認してください。

- `\Program Files\Avid\Avid Media Composer\SupportingFiles\Utilities` フォルダに **dnxmov2mxf** という実行ファイルがあります。これは、アルファが別に保存されている DNX 圧縮された MOV がファイルを、アルファをエンベッドした MXF OP1a に変換します。このツールは Windows、osX、Linux で使用できます。Windows で起動するには、Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2015 または Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2017 が必要です。Windows のコマンドプロンプトまたは macOS のターミナルから以下を実行してください。
`dnxmov2mxf path_to_mov [path_to_mxf]`

SRT に関する注意

SRT に関する詳細は、Help メニューの ”Open IO Support for SRT”をご参照ください。

出力

- SRT が本来的に圧縮ストリーミングである点と、受け側のアプリケーションの性能差等により、出力された映像は Media Composer 内のビューワーと同期が取れない場合があります。デコーダーの性能によっては、Media Composer 内のビューワーから数秒ズレる可能性があります。ネットワークの速さによっては、デコーダー側のバッファリング設定を変更する必要があるかもしれません。

SRT クオリティビットレート

- デフォルト設定は以下のとおりです :

Low Quality (Long GOP ベース圧縮) – 3Mbps (30fps 以下) 、6Mbps (30fps 以上)

Medium Quality (Long GOP ベース圧縮) – 6Mbps (30fps 以下) 、12Mbps (30fps 以上)

High Quality (Intra-frame ベース圧縮) – 40Mbps (1080p/29.97) フレームレートとラスターの設定によっては、これ以上の値を取ります。

- ビットレートは可変であり、送出されるメディアの内容によってはこれを超える可能性もあ

ります。ビットレートはフレームレートとラスターサイズによって変化し、また送出される映像の内容によっても変わります。

- SRT では 8bit のみのサポートです。Media Composer のプロジェクトが 10bit だったときは、I/O は自動的に 8bit に変更されます。

•

プロジェクト/メディアサポート

- 2K/UHD/4K プロジェクトは、同じフレームレートの HD にダウンコンバートされます。例えば UHD 4k 23.976 で SRT を使用すると、HD 23.976p にダウンコンバートされます。
- インターレースフォーマットはネイティブサポートされません。同じフレームレートのプログレッシブとして送出されます。
- オーディオはステレオミックスされます。
- RGB はネイティブサポートされません。YUV に変換されます。



SRT プラグインは、Media Composer | Enterprise および Media Composer | Ultimate でのみサポートされます。

セキュリティガイドライン

システムとネットワークへのセキュリティ攻撃は、近年ますます独創的かつ持続的になっています。Avid は新しいセキュリティ戦略を採用して、お客様とパートナーが資産と知的財産をより適切に保護できるようにしています。ご存知のように、これまでも Avid は、Avid 製品ラインの多くで推奨される最適なソリューションとして、Symantec Endpoint Protection を推奨してきました。2020 年第 3 四半期の時点で、Avid は、Avid システムを保護するための一般的なガイドラインを提供する、より柔軟な戦略を導入しています。この新しいポリシーにより、Avid のベストプラクティスに従いながら、組織に最適なセキュリティソリューションを選択できます。Avid Media Composer システムには、Endpoint Detection and Response (EDR) をインストールすることができます。Avid は特定のソリューションをサポートするものではありませんが、CrowdStrike Falcon に関する一般的な情報とガイドラインについては、以下をご参照ください。

https://avid.secure.force.com/pkb/articles/en_US/troubleshooting/en239659



NEXIS Client 23. 8. 2 と 23. 12 では CrowdStrike v7. 0. 4 以降が必要です。これ以前のバージョンの NEXIS Client では、v7. 0. 3 までをサポートします (Windows、macOS)。

Media Composer v2023.12 で修正された不具合

- **Bug Number:** MCCET-4579 Prunus からエクスポートされた AAF を Media Composer の 1080i/59.94 プロジェクトにインポートすると、AAF として認識されず、"Exception:AFileMediaDesc::SetAAFProperties() - Unable to set a container type for media descriptor" エラーが出る。
- **Bug Number:** MCCET-5186 ビンやパネルがフローティングになっていると、新しく開いたビンがそれらのウインドウの背後で開いてしまう。
- **Bug Number:** MCCET-5020 LUT が適用されており、かつ、マーカーが適用されているクリップを Script ウィンドウで再生すると、Media Composer がクラッシュする。
- **Bug Number:** MCCET-5182 シークエンステンプレートに設定したスタート TC が、そのテンプレートを使って何度か新規シークエンスを作成した後でないと実際に適用されない。
- **Bug Number:** MCCET-5245、MCCET-5247 部分的にトランスコードされたクリップに対して Dynamic Relink が正しく動作しないことがある。

- **Bug Number:** MCCET-5277 0時より前のスタート TC を持つ、部分的に復元されたクリップで、タイムコードが日付を超えると **Dynamic Relink** が正しく動作しない
- **Bug Number:** MCCET-5071 プロジェクトのフレームレートと異なるクリップが含まれたタイムラインに対して、マッチフレームが正しく動作しない。
- **Bug Number:** MCCET-5210 フローティング状態のビンを何度か開いたり閉じたりすると、サイズが変わる。
- **Bug Number:** MCCET-5289 (Windows) 以前のバージョンからアップグレードすると、ScriptSync AI や PhraseFind AI が動作しなくなり (AvNN Error 275, Connection Refused)、Media Composer を再インストールしなければならなくなる。
- **Bug Number:** MCCET-5129 Nugen LM-Correct AudioSuite プラグインがオーディオをシフトし、正しくレンダリングできない。
- **Bug Number:** MCCET-5264 非常に尺が長く、スタビライズエフェクトが適用されたクリップに対し、デュアルローラートリムが正しく動作しなくなる。
- **Bug Number:** MCCET-5115 (MediaCentral | Production Management) Transfer Engine と Transfer Client を使って、複数のクリップを別のワークグループに送ろうとすると、いくつかのクリップが送られない。
- **Bug Number:** MCCET-5148 (macOS) SRT を有効または無効にすると、キーチェーンのパスワードを求めるポップアップウィンドウが繰り返し表示される。
- **Bug Number:** MCCET-5054 エフェクトモードで、エフェクトエディターウィンドウが開いている状態でタイムラインを操作しても、エフェクトエディターが閉じない。
- **Bug Number:** MCCET-4837 AMA Management データベースフォルダーに不要なエントリが蓄積され、Media Composer のパフォーマンス低下を引き起こす。
- **Bug Number:** MCCET-4996 フレームレートが混在するシークエンスを MP4 または MOV にエクスポートしようとする時、"Exception: PMM_SYNC_FAILURE" エラーが出る。
- **Bug Number:** MCCET-5066 ソースブラウザーで P2 カードからのインポートが正しくできないことがある。
- **Bug Number:** MCCET-5219 フスハー (Modern Standard Arabic (MSA)) で ScriptSync を使用すると、“Error syncing... The file could not be opened” エラーが出る。対応する AvidLanguagePacks インストーラーは“Arabic (Modern Standard)” でした。
- **Bug Number:** MCCET-5214 再生時に [高解像度のみ] ではなく [プロキシ優先] で再生すると、オーディオの位相がズレる。
- **Bug Number:** MCCET-4179 2つのクリップ間にディゾルブがあり、モーシオンエフェクトまたは Fit to Fill が使用されると、マッチフレームが正しく動作しなくなる。
- **Bug Number:** MCCET-4835 メディアによっては、マルチカメラモードでマッチフレームすると、ギャングボタンが有効になってしまう。
- **Bug Number:** MCCET-5135 Temporal (motion) アダプターを使用した、ミュートされたグループクリップを含むマルチカメラ編集で、[マルチカメラ編集の確定] をした後に空のクリップが作成される。
- **Bug Number:** MCCET-4692 クリップのフレームレートが標準的でないもの (15fps 等) のとき、ビンの Auxiliary TC1 コラムを修正しようとする時“Assertion failed: FALSE File” エラーが出

る。

- **Bug Number:** MCCET-4639 アルファを持ったクリップが乗っているトラックをミュートすると、“Assertion failed: parent File”または“Exception: FATAL_ERROR”エラーが出る。
- **Bug Number:** MCCET-4209 セグメントモードを使用して **Matte Key** のトラック間でネストされたクリップをドラッグすると、**Media Composer** がクラッシュする。
- **Bug Number:** MCCET-4671 アルファチャンネルを含む **Avid Media Files** を読み込むと、“Alpha RLE compression not recognized” エラーが出ることもある。
- **Bug Number:** MCCET-5023 グループクリップに **Timecode Buen-in** エフェクトを適用すると、ビンコラムが正しく表示されなくなることがある。
- **Bug Number:** MCCET-5223 特定のメタデータが欠如し、可変ビットレートのビデオが含まれる非標準の XAVC MP4 メディア ファイルをコンソリデートすると、“Assertion failed: false File”エラーに続き “Exception: FATAL_ERROR” が出る。
- **Bug Number:** MCCET-5176 59.94fps プロジェクトで 29.97fps クリップに **AudioSuite** の **Gain** エフェクトを適用すると、レンダリングエラーになる。
- **Bug Number:** MCCET-5184 カラーコレクションの **Gamma** スライダーが、**Shift** キーを押しながらドラッグしても精密な変更ができない。
- **Bug Number:** MCCET-5170 **Ctrl+N** (Windows) または **Cmd+N** (macOS) で新規ビンを作成した後、ドッキングされたウインドウとフローティングのウインドウの間で不一致が起こる。
- **Bug Number:** MCCET-5252 **Transfer** 設定が **Stereo** に設定されていても、**Send to Playout** がモノラルで送信されることがある。
- **Bug Number:** MCCET-5105 **AudioSuite** エフェクトが適用されたクリップを含むトラックをミュートしていると、そのトラックを削除しようとしても削除することができず、シークエンスの先頭にそのクリップのコピーが作成される。
- **Bug Number:** MCCET-5168 「レコードモニターをクリアして、シーケンスを読み込みなおす」というオペレーションを短時間で実行すると、複製されたシークエンスへの変更が実行されない。
- **Bug Number:** MCCET-4962 **Color** ワークスペースでステップインしてステップアウトすると、プレイカーソルの位置に関わらず、間違ったクリップが選択される。
- **Bug Number:** MCCET-5014 エキスパートレンダラーした後でクリップを動かすと、必要以上のレンダリングファイルが失われる。
- **Bug Number:** MCCET-3627 24fps プロジェクトで 23.976fps クリップに対してマッチフレームを実行すると、タイムコードがズレる。
- **Bug Number:** MCCET-5291 プロジェクトフレームレートに一致させるためのアダプターが適用されているクリップに対して、スクリプト検索が実行できない。
- **Bug Number:** MCCET-3491 オートシンクされたサブクリップを作成するとき、波形解析かドースタイムコードを使用すると、同期がズレる。
- **Bug Number:** MCCET-5308 (Windows) **Audio Suite** エフェクトダイアログで「マルチ入力モード」のテキストが正しく表示されない。
- **Bug Number:** MCCET-5318 デジタルオーディオスクラブが有効な状態でリフトまたは削除を実

行すると、Media Composer がクラッシュする。

- **Bug Number:** MCCET-5292 トラックでエッセンスデータが使用できない状態だと、AMA Mapping エラーが出る。
- **Bug Number:** MCCET-5061 Timeline 設定で [マーク領域を表示] または [マーク間の波形を表示] が選択されていると、オーディオ波形が正しく描画されない。
- **Bug Number:** MCCET-5333 (MediaCentral | Production Management) 2分を超える Matte Key クリップが、レンダリングが終了しても表示されない。
- **Bug Number:** MCCET-4215 部分的に MPEG 50 でリストアされたクリップまたはシークエンスを開くと、"Exception: MXF_DIDMapperSegmented::ReadRange - End Sample Index exceeds on-disk Index Entry Count" エラーが出る。
- **Bug Number:** MCCET-3909 VPN 接続されていないライセンスサーバーからライセンスをチェックアウトすると、Media Composer が起動時にハングしたようになる。
- **Bug Number:** MCCET-3897 (MediaCentral | Production Management) Dynamic Relink でビデオのリリンク方法を [最高品質] に設定する前にクリップをコンソリデート/トランスコードすると、データトラックがオリジナルの AMA クリップにリンクする。
- **Bug Number:** MCCET-4806 (MediaCentral | Production Management) ビンコラム選択メニューで選択した Multi Rez コラムが保存されない。
- **Bug Number:** MCCET-5338 (MediaCentral | Production Management) DP でビデオミックスダウンすると、ファイルが"Unchecked-in Avid Assets"に保存されず、チェックインするまではファイルが削除できない。
- **Bug Number:** MCCET-5351 (macOS) ヘッドフォンオーディオを使用すると動作が一貫せず、"Exception: CORE_AUDIO_STREAM_ID_ERROR1" が出ることもある。
- **Bug Number:** MCCET-5272 [Distributed Processing でエクスポート] したとき、保存先として新しいフォルダーを追加すると、一度ウインドウを閉じるまではフォルダー名が ABC 順に表示されず、正しいアイコンも表示されない。
- **Bug Number:** MCCET-5031 システムが日本語ロケールを使用していると、[Distributed Processing でエクスポート] ウインドウで日本語が正しく表示されない。
- **Bug Number:** MCCET-5334 Pro Tools セッションエクスポートしたファイルを日本語ロケールのシステムで開くと、Bus Tab ネームコラムに"<Error encoding string>"と表示される。
- **Bug Number:** MCCET-5368 Media Composer v2018.x で作成された Avid OP-Atom メディアを読み込み、再生したときに "Assertion failed" エラーがでることがある。
- **Bug Number:** MCCET-5390 (MediaCentral | Production Management) Access UI から Media Composer にドラッグ&ドロップしたとき、Media Composer がクラッシュすることがある。

既知の問題

以下の問題は既知の問題です。

- QuickTime がインストールされていないシステムでは、Photoshop PSD ファイルの AMA リン

クはサポートされていません。

- 特定のフォントでは、太字しか持っていないものがあります。Mac システムにおいては、フォントを選択しても何も変化が起きないことがあります。このときは、**Bold** を選択してみてください。
- ダイアログで有効にしているにも関わらず、プロジェクト起動時に “Enable 3rd Party Emulation” メッセージが出るときは、[ファイル] メニュー > [設定] を選択し、[プロジェクト] タブをクリックします。次に [General] 設定を開き、“Enable Bin Sharing on 3rd party storage emulating Avid NEXIS/ISIS” を選択してください。

- **Bug Number: MCDEV-18461** Boris FX が [クリップから文字起こし] のインデクシング動作を阻害する。
- **Bug Number: MCDEV-18451** QuickTime がインストールされていないシステムで、QuickTime ファイルのファストインポートが実行できない。
- **Bug Number: MCDEV-18368** QuickTime がインストールされていないシステムで、アルファチャンネルを持った QuickTime ファイルが常に RLE としてインポートされる。
- **Bug Number: MCDEV-18293** QuickTime がインストールされていないシステムで、Matte Key にリンクするメディアを削除できない。エフェクトクリップは削除できる。
- **Bug Number: MCDEV-18307** QuickTime がインストールされていないシステムで、4K、8K、16K プロジェクトにインポートされた Matte Key クリップのオリジナルビデオ設定が、タイムラインクリップテキストの解像度として正しく表示されない。
- **Bug Number: MCDEV-18384** QuickTime がインストールされていないシステムで、QuickTime MOV から OMF が生成できない。
- **Bug Number: MCDEV-18374** QuickTime がインストールされていないシステムで、Import 設定 ウィンドウでアルファ チャンネルが [無視] に設定されている場合を除き、オーディオトラックとアルファ チャンネルの両方を含む QuickTime が常にマット キーとしてインポートされる。
- **Bug Number: MCDEV-18367** QuickTime がインストールされていないシステムで、Import 設定の [DV 走査線数のクロップ/パッド調整] が正しく動作しない。
- **Bug Number: MCDEV-18411** QuickTime がインストールされていないシステムで、アルファチャンネルを持つクリップをインポートすると、Matte Key クリップのアルファレイヤーが正しくリサイズされない。

回避方法：クリップをインポートする前に Import 設定ウィンドウで [小さい画像はリサイズしない] が選択されていた場合は、ビン内のイメージを右クリックして [ソース設定] を選択します。[FrameFlex] タブで、[Reformat] ドロップダウンメニューから [中央でサイズを維持] を選択し、[Apply] をクリックします。これにより、Matte Key とその関連シーケンスに空間アダプターが追加されます。レンダリングが必要になります。

- **Bug Number: MCDEV-18107** (Windows) Media Composer のインストールが失敗し、1309 エラーを出す。インストーラーのパスが長すぎるときに発生します。例えばインストーラーがデスクトップ上から実行されているとき等に発生しやすいです。

回避方法：インストーラーをドライブのルートレベルから実行してください。

- **Bug Number: MCCET-4971** Media Composer 2022.12 以降で、コマンドパレットで [メニューからボタンに割付] を選択していても 新規 > シークエンス がキーボードに割り当てられず、「そのメニューアイテムは割付できません」というメッセージが表示される。これは新しいサブメニューによる機能拡張が原因であり、将来的に変更される可能性のある関数をマッピングすることでは

きません。

回避方法 : Cmd+Shift+N (macOS) または Ctrl+Shift+N (Windows) で新規シークエンスを作成してください。

- **Bug Number:** MCDEV-17243 Disk Cache が off または 0 だと、プロキシの再生ができなくなる。

回避方法 : Avid NEXIS | EDGE を使用時は、Disk Cache を 1 以上に設定してください。

- **Bug Number:** MCDEV-16685 SRT が無効のとき、ハードウェア設定がプロジェクト設定を正しく引き継げず、UHD と HD フォーマットの間にミスマッチが発生し、キャプチャツールでエラーが出る。

回避方法 : SRT が無効でキャプチャツールが開いているときは、ビデオ出力を手動で設定してください。

- **Bug Number:** MCDEV-15629 Matte Key クリップに対してプロキシを作成しても、アイコンの色が変わらない

回避方法 : プロキシが作成されているかどうかは、Proxy Offline コラムを確認してください。

- **Bug Number:** MCDEV-17081 ハイRezファイルが存在しないのにメッセージが表示されず、プロキシメディアを使って出力される

- **Bug Number:** MCDEV-15413 データトラックが壊れていると、リンククリップからプロキシが作成できないことがある。

- **Bug Number:** MCDEV-16119 (Avid Artist DNxIQ) オーディオをキャプチャしようとする時、“Audio/video is unexpectedly no longer coming into the system” エラーが出る。このエラーが出るのは最初の一回だけで、その後は問題なくキャプチャできるようになります。

回避方法 : 最初にビデオをキャプチャし、その後ビデオをオフにしてキャプチャしてください。

- **Bug Number:** MCDEV-15843 (Windows 11) ファインダーからビンにドラッグ&ドロップできないことがある。

回避方法 : インポートまたはリンク時には、ソースブラウザーを使ってください。

- **Bug Number:** MCDEV-14845 Media Composer が Software Only モードだと、Media Composer | Enterprise Admin ツールで NDI 機能を制限できない。

- **Bug Number:** MCCET-3702 HD インターレースシークエンスに UHD プログレッシブクリップを追加したときの画質。

Media Composer では、プロジェクトの設定にクリップのフォーマットを合わせるとき、mix and match の処理を行います。まずモーションアダプターを適用し、次に解像度を z 法制します。

例えば、1080i タイムラインに UHD 50p クリップを追加するときは、まず UHD クリップを 2 つのフィールドに分割し、それぞれのフィールドを 1920x540 のサイズに変更します。最後にこれらのリサイズされたクリップを一つに合わせますが、このときオリジナルの鮮明さは失われてしまいます。

回避方法 : UHD プログレッシブを HD プログレッシブにトランスコードしてから、これを HD インターレースシークエンスに追加すると、UHD から HD へのサイズ変更プロセスは 2 つに分割するプロセスの前に実行されます。

- **Bug Number:** MCCET-3788 OP1a オーディオクリップを重畳した AAF をエクスポートしようとすると、“clip name is a clip in a multi-essence file that cannot be exported using the specified Embedded in AAF setting” エラーが出ることもある。

回避方法：エクスポート前に、OP1a ファイルを OP-Atom にコンソリデートしてください。

- **Bug Number:** MCDEV-12988 (macOS) Media Composer v2020.4 では、AMA Drasticpy ラグインはサポートされません。

- **Bug Number:** MCDEV-12735 Radeon グラフィックカードを使用していると、Maestro グラフィックがタイムラインで表示されない。

- **Bug Number:** MCDEV-11481 モーションアダプターが含まれていると、Title Tool アプリケーションで作成したタイトルが Avid Titler+ にプロモーションできない。

- **Bug Number:** MCCET-11796 10bit 以上の DPX が正しくリンクできない

回避方法：[ファイル]>[設定]を開き、[User] タブをクリックします。[Link] 設定で[リンクオプション]からアルファチャンネルを[無視]に設定してください。

- **Bug Number:** MCDEV-8641. (AMD Graphics) AMD グラフィックカードを搭載したシステムでフルスクリーン再生すると、画面がティアリングする。

インストールの前に

(Windows) インストール中の上書き

v2020.12.x 以降のバージョンからアップデートするときは、上書きを実行するか尋ねられます。それ以前のバージョンからのアップデートの際は、まず以前のバージョンをアンインストールしてください。

Media Composer | Enterprise および Media Composer | Distributed Processing

Media Composer | Enterprise および Media Composer | Distributed Processing をお使いの場合、*Media Composer | Enterprise Administration Guide* and *Media Composer | Distributed Processing Administration Guide* の ”Installation Prerequisites” をご参照の上、Avid MediaCentral Cloud UX Platform ISO および Avid MediaCentral Cloud UX Feature Pack ISO のサポートバージョンをご確認ください。

MediaCentral | Production Management 環境へのインストールの前に

アップグレードの前に“*Avid Editor Compatibility with Interplay Releases*”をご参照ください。編集システムのアップグレード時に、Interplay コンポーネントをアップグレードする必要がある場合があります。https://avidtech.my.salesforce-sites.com/pkb/KB_Render_FAQ?id=kA96e000008T8t&lang=ja

バッファエラーメッセージ

システムには最低 8GB の RAM が必要です。メモリが 8GB 以下のシステムにアプリケーションをインストールしようとすると、バッファエラーが表示され、インストールできません。

解凍時のエラーについて

解凍時に「ファイルパスが長すぎます」とか「ファイル名が長すぎます」というエラーが出た場合は、.zip ファイルを c: に置いて解凍してください。

“Raise Thread Priority”権利

(Windows) ドメイン管理者の方へ: システムがドメイン管理下にあるときは、ユーザーに“**Increase Scheduling Priority**”権限を与えてください。この操作は、ドメインコントローラーのドメイングループポリシーで、ユーザーまたはグループに対して明示的に与えられなければなりません。通常のユーザーではシステムを起動することができません。

ドメイン管理下にいる場合はドメイン管理者に相談の上、インストールと最初の起動はドメイン管理者に依頼するようにしてください。

管理者 (Administrator) としてインストール

最初のインストールと起動は管理者 (Administrator) として行う必要があります。共有ストレージ環境にいる場合は、ワークスペースを Administrator としてマウントしてください。その後、ログオフして通常のユーザーとしてログインし直してください。

インストールの後に AMA プラグイン

アプリケーションのバックグラウンドサービスが稼働中は AMA プラグインをインストールすることはできません。AMA プラグインをインストールする前に、バックグラウンドサービスを停止してください。バックグラウンドサービスの起動/停止は、メニューバー (Mac) またはタスクバー (Windows) から行えます。AMA プラグインをインストールしたら、バックグラウンドサービスを再起動してください。詳細は Help の“Starting and Stopping Avid Background Services”をご参照ください。

ソフトウェア・ライセンスについて OS をアップデートする時は

アプリケーションをインストールした後で OS をアップグレードする必要がある場合は、まずソフトウェアをディアクティベートしてください OS をアップグレードした後、必要であればアプリケーションを再インストールした後でソフトウェアを再アクティベートできます。ライセンスのアクティベート/ディアクティベートに関する詳細は *Installation Guide for Avid Editing Applications* をご参照ください。

RAM 最小要件

このリリースでは、最小 16GB RAM、32GB RAM が推奨です。特定の機能ではさらに RAM が必要な場合もあります。詳細は p.14 「機能別稼働要件」を参照ください。

認証ハードウェアとオペレーティングシステム

特定の機能は CPU に大きな負荷をかけるものや特定のハードウェアが必要なものがあります。詳細は p.14 「機能別稼働要件」をご参照ください。

以下の表は、Windows および Macintosh で認証されているハードウェアです。

3rd パーティ製 Open IO ハードウェアの認証情報については、各ベンダーから発行されている文書をご参照ください。Open IO については http://avid.force.com/pkb/articles/en_US/faq/en422991 をご参照ください。

以下は認証されているオペレーティングシステムです。お使いのハードウェアに応じ、以下のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Windows 10 64-bit 21H1 以降 (Professional、Enterprise)
- Windows 11 64-bit 21H1 以降 (Professional、Enterprise)
- Macintosh v10.15.7、v11.0～v11.7、v12.x ～ v12.7.x、13.0～13.6.x、14.0～14.1.x



macOS 10.14.6 Mojave は Media Composer 22.4 以降ではサポートされません。



Mac OS v10.13.x (High Sierra)において、Apple はカーネルエクステンション (KEXT) の手動での読み込みを必要とする仕様に変更しています。例えば Avid Nitris DX、Blackmagic、AJA 等の I/O デバイスはカーネルエクステンションのインストールが必要ですが、これらは自動ではインストールされず、結果として「KEXT が読み込まれていない」旨のメッセージを受け取ることになります。この場合、システム設定の「セキュリティとプライバシー」を開き、手動で KEXT を認証してください。I/O デバイスのドライバーをインストールするときは「セキュリティとプライバシー」ウインドウを開いたままにしておくと、ドライバーの動作に認証が必要ながわかります。ここで30分以内に「Allow (許可)」ボタンをクリックしてください。これを行わないと、ドライバーは実行できなくなります。

認証ワークステーションおよびラップトップ

Windows および macOS の認証システムについては、[Avid Qualified System](#) の Windows または macOS の該当 PDF をご参照ください。

機能別稼働要件

機能の一部には、CPU に高い負荷をかけるものがあります。その結果、古いシステムでは性能が発揮できない場合があります。以下の表は、機能ごとに必要なハードウェア要件です。システムの認証状況については「[認証ワークステーションおよびラップトップ](#)」をご参照ください。

機能	要件	推奨システム
PhraseFind AI ScriptSync AI	24GB RAM 以上	認証システム
16K プロジェクト	96GB RAM 以上	48+ core Intel Xeon or AMD Threadripper CPU systems with Nvidia RTX graphics
高解像度、高フレームレート XAVC-I メディアの編集 (UHD/4K 59.94p) Color Adapter 付き 4 ストリーム	64GB RAM 以上 96GB RAM 推奨	HP Z8, Z6, Lenovo P920, P720, P620 Dell 7920, Dell 7820 ・ Dual gold 6254 3.1 Ghz turbo to 4.0 Ghz 18-core (72 with HT) ・ Dual Xeon Gold 6154 3.0 Ghz, turbo up to 3.7 Ghz 18-core (72 cores with Hyperthreading) ・ AMD W5700, AMD W6800 & Pro VII ・ Nvidia RTX 5000, RTX 6000 ・ Nvidia RTX A6000, RTX A5000
1080p/50 XAVC Long ベース	32GB RAM 以上	Storage: 10Gb Ethernet Avid NEXIS 認証 PC Dual 6 Core 以上

機能	要件	推奨システム
バンドキャプチャー		認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
高解像度、高フレームレートの編集 (UHD/4K 59.94p)	32GB RAM 以上 64GB RAM 推奨	HP Z8, Z6, Lenovo P920, P720, P620 HP Z840 HP Z640 Dell 7920/7910 Dell 7820/7810 Lenovo P910/P900/ Lenovo P710/P700 <ul style="list-style-type: none"> ・ NVIDIA RTX 5000, 6000, AMD W6800 & Pro VII ・ NVIDIA P5000, M5000 or K5200 and AMD W5700 PCIe Gen3 Gfx card (推奨) Mac Pro 2019 <ul style="list-style-type: none"> ・ 16 core (32 with Hyperthreading) 3.2 GHz ・ AMD Radeon Pro Vega II Storage: 10Gb Ethernet Avid NEXIS
高解像度 (2K 以上) メディアの編集	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
DMF、バックグラウンドトランスコード、バックグラウンドレンダリング	32GB RAM 以上推奨	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
Media Composer Cloud	16GB RAM 以上 システムモデルにより、 24GB 以上推奨	i7 Quad Core 以上、 Hyperthreading
J2K キャプチャー	16GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
ストリーム数の多いシークエンスでの XDCAM Long GOP 9 面マルチカメラ	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading Storage : 2 x 1Gb Ethernet 以上の NEXIS
ステレオ 3D	ステレオ 3D 編集には、パフォーマンスの高いマシンをお使いください。ステレオ 3D では 12GB RAM 以上を推奨します。	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
XDCAM HD50 キャプチャー	Open I/O を使用したキャプチャー	認証システム
HD RGB 444 Apple ProRes 4444 DNxHD 444	HD RGB キャプチャーには Open I/O デバイスと高性能マシン、高速なストレージが必要です。	Dual 6 Core 以上の認証 PC Mac Pro 6 Core 以上の Mac、 12 Core Hyperthreading Storage: 10Gb Ethernet Avid NEXIS

機能	要件	推奨システム
AMA (QuickTime)	AMA は CPU に高い負荷をかけます。性能が低いマシンだとパフォーマンスが発揮できない場合があります。特に H.264 ではリアルタイムパフォーマンスが落ちる可能性があります。	使用用途に応じて認証システムから選択してください。圧縮率が高いメディアを大量に使う場合は高性能のマシン (Dual 6 Core または Dual 8 Core) をお使いください。
AMA (RED)	AMA は CPU に高い負荷をかけます。より高いパフォーマンスが必要なときは、高性能のマシンをお使いください。	認証 Xeon システム RED プラグインはグラフィックプロセッサを使用します。高パフォーマンスのグラフィックカードでは、より高いパフォーマンスが期待できます。
AVC-Intra キャプチャー	ソフトウェアコーデックでの AVC-Intra キャプチャーはサポートされています。	24 Core 以上の Windows システム
AVC-Intra	AVC-I は高画質低ビットレートの HD コーデックであり、CPU に高い負荷をかけます	4 面マルチカム再生 Dual Quad Core、Dual 6 Core、Dual 8 Core 4 ストリーム再生 Dual Quad Core、Dual 6 Core、Dual 8 Core

Avid Artist I/O デバイス互換表

各 Avid Artist I/O デバイスをサポートする Media Composer バージョンです。

使用する際は、[Avid Master Account](#) より、適切なドライバーをダウンロードしてください。

デバイス	サポートする Media Composer バージョン
Avid Artist DNxIO	Media Composer v8.4.1 以降
Avid Artist DNxIQ	Media Composer v8.8.3 以降
Avid Artist DNxIV	Media Composer v8.10 以降
Avid Artist DNxIP	Media Composer v2018.8
Avid Artist DNxID	Media Composer v2018.9

システムバージョン互換表

Media Composer で認証されている NVIDIA® ドライバー、QuickTime®、Windows Media™、共有ストレージ、Sony® XDCAM™、Panasonic® P2、Avid Artist シリーズの各バージョンです。Web サイトの”[互換バージョン対応表](#)”も併せてご参照ください。

重要 : 3rd パーティ製品 (Sorenson、Boris 等) については、各社 Web サイトをご参照ください

い。

製品名	バージョン	コメント
QuickTime	v7.7.9 (Windows) v10.x (v7.x Legacy) (macOS)	QuickTime v10.x には QuickTime Pro オプションは含まれていません。 Windows 10ではQuickTimeはサポートされていません。 https://avidtech.my.salesforce-sites.com/pkb/KB_Render_FAQ?id=kA96e000008Tx1&lang=ja
Avid Interplay	互換性については Knowledge Base をご参照 ください。	重要 ：編集システムにインストールする Interplay コンポーネントは、編集アプリケーションがリリースされた時期のバージョンをお使いください。これには、Media Indexer、Interplay Access、Interplay Framework、Interplay Transfer Client、ProEncode Client が含まれます。Interplay Server Component のバージョンは以前のもでも構いません。詳細は Knowledge Base の“Avid Editing Application Compatibility with Interplay Releases”をご参照ください。
NVIDIA ドライバー	v537.42 (Ada シリーズ GPU) v474.44 (Kepler シリーズ GPU)	詳細は p.18 「 NVIDIA カードのセットアップ 」をご参照ください。 ステレオ 3D 用のドライバー設定方法については、Stereoscopic 3D Workflow Guide の NVIDIA Setup Info をご参照ください。 このバージョンは、仮想マシン (VM) 用の NVIDIA vGPU ソフトウェア 14.4 をサポートしています。詳細は nvidia.com をご参照ください。
AMD ドライバー	23.Q3.1	注意：v2022.Q3 にはアップデートしないでください。Media Composerga 動作しなくなります。22.Q2 にも問題があることがわかっています。 詳細は amd.com をご参照ください。
共有ストレージ	Avid NEXIS、Avid ISIS	詳細は p.19 「 共有ストレージサポート 」をご参照ください。
Sony XDCAM	v2.13 (XDCAM Transfer for Macintosh) Windows FAM v2.3.2、 VFAM v5.0.2	PDW-U1 の VFAM ファームウェアバージョンは 2.600 です。PDW-U2 では 2.810 です。 ドライバーは Sony ウェブサイトからダウンロードしてください。
Panasonic P2	v3.1.7 (Macintosh) v2.24 (Windows)	現時点では Macintosh では P2 への書き戻しはサポートされていません。
Avid Artist シリーズ (Euphonnix)	EuControl ソフトウェア v3.4	Artist シリーズ User's Guide をご参照ください。

オーディオデバイスとの互換について

オーディオハードウェアおよびソフトウェアの互換については、以下の表をご参照ください：

ハードウェア/ソフトウェア	参照先
コントロール・サーフェス	Supported Control Surfaces
Avid Artist I/O	Supported Avid Artist I/O Devices
Media Composer と Pro Tools との共存	Co-install information for Media Composer and Pro Tools

NVIDIA カードのセットアップ

NVIDIA カードをセットアップする前に、正しいドライバーバージョンをインストールしていることを確認してください。必要であれば正しいドライバーをインストールしてください。サポートしているドライバーバージョンについては、p.16「[システムバージョン互換表](#)」をご参照ください。

ドライバーは nvidia.com からダウンロードしてください。

NVIDIA ドライバーバージョンを確認するには：

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを選択します。Windows コントロールパネルから NVIDIA コントロールパネルを開くこともできます。
2. 左下隅の「システム情報」をクリックします。
「グラフィックカード情報」にバージョンナンバーが表示されます。

NVIDIA ディスプレイドライバーをインストールするには：

1. 必要なドライバーを nvidia.com からダウンロードします。
2. ドライバーインストーラーをダブルクリックします。
3. 画面の指示にしたがってインストールした後、システムを再起動します、

マルチディスプレイをセットアップするには：

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを開きます。
2. 左側のペインから「複数のディスプレイの設定」をクリックします。
3. リストから必要なディスプレイを選択します。

Avid 環境用にドライバーをセットアップするには

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを開きます。
2. 「3D 設定の管理」をクリックします。
3. 「グローバル設定」タブをクリックします。
4. 「グローバルプリセット」プルダウンメニューから「ベースプロファイル」を選択します。
5. 「設定」ペインをスクロールし、「電源管理モード」から「パフォーマンス最大化を優先」を選択します。
6. 「適用」をクリックします。

NVIDIA ソフトウェアをインストールした後は、インストーラーの指示がない場合でも必ずシステムを再起動してください。

Windows のドライバーロールバック機能（「ドライバーを元に戻す」機能）は NVIDIA ドライバーには使用しないでください。ドライバーのバージョンは、NVIDIA ドライバーインストーラーがインストールしたその他のコンポーネントと一緒になければなりません。

共有ストレージサポート

共有ストレージサポートについては、以下の文書の Avid NEXIS および Avid ISIS の表をご参照ください。

http://resources.avid.com/SupportFiles/Attachments/Interplay_MediaCentral_Support_Matrix.pdf

Legal Notices

Product specifications are subject to change without notice and do not represent a commitment on the part of Avid Technology, Inc.

This product is subject to the terms and conditions of a software license agreement provided with the software. The product may only be used in accordance with the license agreement.

This product may be protected by one or more U.S. and non-U.S patents. Details are available at www.avid.com/patents.

No part of this document may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording, for any purpose without the express written permission of Avid Technology, Inc.

Copyright © 2021 Avid Technology, Inc. and its licensors. All rights reserved. Portions ©

Copyright 2003-2007 of MOG Solutions.

Attn. Government User(s). Restricted Rights Legend

U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS. This Software and its documentation are "commercial computer software" or "commercial computer software documentation." In the event that such Software or documentation is acquired by or on behalf of a unit or agency of the U.S. Government, all rights with respect to this Software and documentation are subject to the terms of the License Agreement, pursuant to FAR §12.212(a) and/or DFARS §227.7202-1(a), as applicable.

Trademarks

Avid, the Avid Logo, Avid Everywhere, Avid DNXHD, Avid DNXHR, Avid Nexis, AirSpeed, Eleven, EUCON, Interplay, iNEWS, ISIS, Mbox, MediaCentral, Media Composer, NewsCutter, Pro Tools, ProSet and RealSet, Maestro, PlayMaker, Sibelius, Symphony, and all related product names and logos, are registered or unregistered trademarks of Avid Technology, Inc. in the United States and/or other countries. The Interplay name is used with the permission of the Interplay Entertainment Corp. which bears no responsibility for Avid products. All other trademarks are the property of their respective owners. For a full list of Avid trademarks, see: <http://www.avid.com/US/about-avid/legal-notices/trademarks>.

Adobe and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple and Macintosh are trademarks of Apple Computer, Inc., registered in the U.S. and other countries. Windows is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks contained herein are the property of their respective owners.

Avid Media Composer ReadMe • Created 12/11/23